



べんけいだより

vol.11
2025.2

NEWS LETTER 担当：医療法人純康会 徳地歯科医院 理事長
京都市南口腔サポートセンター
センター長 徳地正純 先生

歯科検診と歯科健診



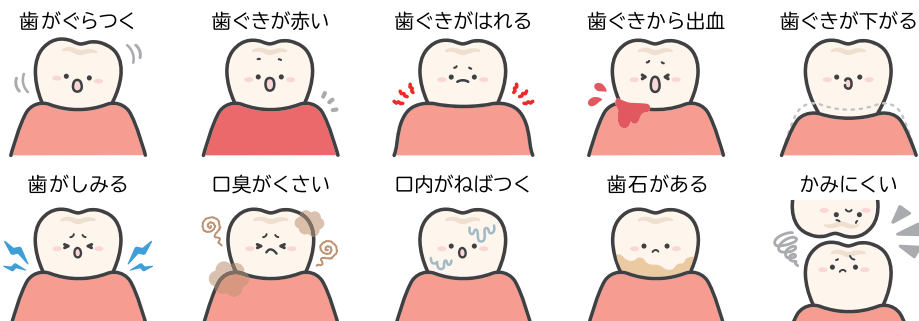
小学校の頃、C1,C2 とか学校歯科医の先生に保健室で大きなお口を開けて言われたことが懐かしいのではないのでしょうか？「早めに歯医者さん行ってね～」と言われて養護の先生から用紙もらってましたよね。それもせいぜい高校生まで、大学や社会人になってからはほとんどの方が「歯科検診」とは無縁になられていると思います。

現在フッ素洗口などの予防教育普及により12歳児の虫歯は平均0.6本／人と著しく減少しています。しかし、忙しい働き盛りになるとついつい食生活が乱れ、痛い時だけ歯医者に行って中途半端に治療が中断するとあっという間にお口の中が崩壊していきます。おまけに40代50代からは歯周病の魔の手が忍び寄ってきます。歯周病は虫歯と違い痛みなく進行しますので気がついた時には手遅れになり歯が抜けてしまう怖い病気です。

検診と健診の違いは特定の病気を見つける目的で検査を受けるのが検診で自分の体が健康であるかを確認するのが健診です。最近では、定期的にかかりつけの歯医者さんで予防目的で歯科健診・メンテナンスを希望される方も増えてきています。虫歯も歯周病も早期発見・予防が一番です。少なくとも半年に一度は是非、定期歯科健診を受けることをお勧めします。また、要介護者の方もお口の不調は誤嚥性肺炎にも繋がりがやすいので食事の時間が長くなったり固いものが食べにくくなったり咽せが出るようになったら地域包括やケアマネさんにご相談ください。



— お口の不調には様々な症状があります —



発行：京都市下京区・南区・東山区在宅医療・介護連携支援センター

〒601-8452 京都市南区唐橋堂ノ前町 15-9 エステート南ビル 301

一般社団法人 下京西部医師会内

電話：075-693-8677 FAX：075-693-3677

ホームページ：<https://www.ishikai.or.jp/renkei-center/>

E-mail shimominami-ikai@ishikai.or.jp

